

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	スポーツコーチサミットの開催		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成2年度		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長	声立 訓	
会計区分	一般会計		施策名	XI-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の国際競技力向上を図るため、競技者の育成・強化に当たるコーチ、スポーツ医・科学研究者及び各都道府県のスポーツ行政担当者等が一堂に会し、それぞれの分野における最新の成果や諸課題について研究協議や情報交換を行うとともに、本サミットを通じて相互の理解と連携を深める。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	国内外のスポーツ指導のオーソリティを招いての特別講演や、テーマに即した基調講演を行う。また、シンポジウムや、パネルディスカッションを行い、スポーツ界の今日的課題を取り上げ、参加者を巻き込みながら議論を深める。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	8	8	4	0		
		繰越し等	0	△4	0			
		計	0	0	0			
	執行額	8	4	4	0			
	執行率(%)	4	4	2				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、競技者の育成・強化に当たるコーチ、スポーツ医・科学研究者及び各都道府県のスポーツ行政担当者等が一堂に会し、それぞれの分野における最新の成果や諸課題について、研究協議や情報交換を行うとともに、相互の理解と連携を深めることが目的であるため、定量的な指標にはなじまない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	毎年度1回開催		活動実績(当初見込み)	回	1	1	1	() ()
単位当たりコスト	スポーツコーチサミット1回開催当たりのコスト(1,732,737円/1回)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度スポーツコーチサミットの開催執行額(1,732,737円)/スポーツコーチサミット開催数(1回)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行については、見積もり合わせ等によりコスト削減に努めている。 ・活動実績については、当初の見込みどおりに開催している。 ・事業成果としては、競技者の育成・強化に当たるコーチ、スポーツ医・科学研究者及び各都道府県のスポーツ行政担当者等300人以上が一堂に会し、それぞれの分野における最新の成果や諸課題について、研究協議や情報交換を行うとともに、相互の理解と連携を深めることができた。 ・事業開始から20年以上を経過し、本事業の当初の目的は達成されたと考えられる。 ・不用率については、会場としてナショナルトレーニングセンターの会議室を使用するなどのコスト削減によるものである。 	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成22年度をもって廃止している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
※平成22年度で事業終了			

A. 文部科学省 2百万円

庁費 1. 2百万円
委員等旅費 0. 5百万円
諸謝金 0. 3百万円 } を含む

※庁費はスポーツコーチサミット運営業務委託等であり、1件百万円以上のものはない

競技者の育成・強化に当たるコーチ、スポーツ医・科学研究者及び各都道府県のスポーツ行政担当者等が一堂に会し、それぞれの分野における成果や諸課題について研究協議を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	スポーツコーチサミット会議運営業務委託、開催通知文梱包発送	1.2			
旅費	講演者旅費	0.5			
諸謝金	講演謝金	0.3			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)